

令和2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493200206	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター横浜鶴ヶ峰		
所在地	(〒241-0011) 横浜市旭区西川島町82-14		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年11月2日	評価結果 市町村受理日	令和3年5月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

緑が多く閑静な住宅街の中にホームが建っています。
落ち着いた環境に囲まれ近隣には、公園が多くあります。
季節折々の花が咲き、子供たちの遊ぶ声や、近隣の方々がお散歩したり
楽しまれています。
ホームでは年間通してボランティアの方々がお茶会、入居者様と楽しく過ごされています。ウクレレ演奏会、サクソ演奏会、マンドリン演奏会、毎月のお茶会を行い
先生に教わりながら、充実した時間を過ごされています

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル 9階		
訪問調査日	令和2年11月26日	評価機関 評価決定日	令和3年3月11日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】

ニチイケアセンター横浜鶴ヶ峰は、相鉄本線西谷駅より徒歩10分、鶴ヶ峰駅より徒歩15分の小高い丘の上に位置する。事業所の前には広い駐車場がある。以前は近隣住民も参加し、夏祭りを開催したが、今はコロナ禍で、地域との交流が難しいため利用者の外気浴の場となっている。桜や楓がある庭には花壇もあり、利用者が職員と一緒に季節の草花を植え、育てている。

【安心・安全へのこだわり】

コロナ禍以前から、管理者は利用者が安心かつ安全に暮らせるように細心の注意を払ってきた。食事に関しては外食や出前を避け、主菜は委託業者から冷凍またはチルド食品の供給を受けている。主食、副菜、汁物はホームでの手作りで食中毒のリスクを回避することを最優先している。また、利用者の嚥下機能に合わせた形状の食事も提供している。

医療面では、利用者は協力医の訪問診療を月に2回受診している。内1回は全体往診で、同じ日に全員が受診する。あと1回の受診日は利用者個々の事情で設定するので、結果として、協力医の訪問診療の頻度が多くなり、利用者の健康面での小さな異常に対しても相談出来る体制となっている。因みに、調査月の訪問診療回数は15回であった。

【利用者、家族、職員の特技を活かした楽しみ】

コロナ禍以前は、家族がお茶の先生として来訪し毎月お茶会を開催していた。今も職員の中に茶道の経験者がいるので継続し、利用者の楽しみの一つとなっている。毛糸の編み物が得意な利用者がいて、冷え性で困っている他の利用者に毛糸の靴下をプレゼントし、交流を図っている。今後は、その利用者を先生として皆に編み物の手ほどきをしてもらい、出来た作品はNPO法人を通じて東南アジアの国々へ届けるプランもある。

歌の好きな職員やリコーダー演奏が得意な職員もいて、利用者と一緒に歌いながら楽しい時間を過ごしている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター横浜鶴ヶ峰
ユニット名	福寿

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様を人生の先輩として尊重している。信頼関係を構築し優しさと思いやりの気持ちを込めて支援することにより質の高い介護サービスを提供致します。	管理者が2020年1月の就任時に事業所理念を再度読み直し内容確認した上で、「優しさと思いやり」に重きをおいている。日々のケアの中で「自分の親だったらどうするのか？」と問いかけるように職員個々と話をしながら、理念の浸透を図っている。	理念の周知、共有に関し、全職員で話し合いの場を持ち、事業所全体として浸透を図り、更に「優しさと思いやり」に満ちたケアが実践されることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間の地域行事に参加させていただいているが、今年はコロナ感染症対策で行事も中止となっている。開催の目処がたてば、参加し交流を図りたい。	コロナ禍以前は、地域のどんど焼き等行事に参加していた。今は地域との交流は中止しているが、今も近くの公園へマスク着用での散歩は継続し、顔馴染みとなった近隣住民とは挨拶を交わしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域ケアプラザの行事に参加させていただけるようお願いはしています。認知症等のイベントは中止の状況が続いているが、今後も引き続き実践を通して地域貢献に努めていきます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議もコロナで外部の方の入室が難しい中、利用者やご家族の意見を聞き、サービスに向上に努めています。	2020年1月までは隔月で町内会長、区役所、地域包括支援センターの職員、利用者、家族をメンバーとして開催していた。コロナ禍のため3月からは事業所内で一部の参加者で継続開催している。参加者よりフロアの電気が暗いといった要望を受けている。	

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	年2回の消防訓練の際、消防員の支持をおおき協力関係を築いております。	グループホーム連絡会に加入し、行政から情報を得ている。また、地域包括支援センターからは、マスク等の物品購入の情報を入手し、事業所より空き情報、利用者の様子を報告し、双方向での情報交換を行っている。	
---	---	--	------------------------------------	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のない職場を継続する為に月1回の全体会議でスタッフと話し合いをし内容を理解し自分たちのケアを振り返り取り組んでいます。	毎月の全体会議で意見交換や研修を実施している。身体拘束廃止委員会を毎月開催し、具体的な事例検討を行い、議事録を職員に回覧し共有している。玄関は開錠し、ユニット出入り口は施錠しているが、常に鍵を開けられるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様に対するケアの確認、職員同士での確認をし情報共有と意見交換を行い虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての理解を深めるために努めます。 現在はご家族対応が多いです。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時はご家族に理解と納得して頂けるように契約時の時間もしっかり取っていただいています。ご説明時ご質問等にも答え、納得の上で同意をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人が実施しているご家族向けのアンケートを参考にしています。意見や感想を真摯に受け止め運営に反映させていただきます。	管理者と居室担当が作成した利用者の様子を記載した「ほほえみ絵日記」を郵送している。面会はリモートで実施していたが、11月より条件付きで事業所内での面会を再開した。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回全体会議と研修を行っている。会議の内容や研修資料を基に職員から意見や提案を聞き、実現できるように努めている。管理者は個別で職員と話す機会を作れるよう心がけている。	全体会議ではケアに関する職員からの意見が多い。最近ではエアコンの風向きを考慮したベッドの配置、コロナ禍でのケア方法といった意見があった。運営に関する意見があれば、不定期開催の運営会議で取り上げ対応する。今年度では花壇の有効活用、衣類の移動販売を呼ぶ等の検討を行った。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社内にキャリアアップ制度があり、昇給の機会を設けており、個人の面談も実施しています。現状の把握をし働きやすい環境整備を行っています。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時の採用研修、経験年数に伴った各種の研修を定期的実施しています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域ケアプラザ主催のグループホーム連絡会に参加し他のグループホームとも繋がりやすい関係を築くよう努めています。 コロナ時は、感染予防の備品等の情報の交換等を行いました。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅へ伺い面談を実施。直接ホームに見学に来ていただく事により安心していただけるようにと努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族から困っている事や要望等を、細かくお聞きして安心していただけるようにご説明を行っています。入居後は月1回のお便りを郵送し身近な存在に感じていただくよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の面談の中でのお話で必要としている事を考えながら、ご提案をしています。理解を得た上で対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と会話する中で希望や要望を察知しています。日々の生活に取り入れ穏やかに暮らしていただけるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン更新時にご家族と電話でカンファレンスが出来るようにしています。オンライン面会も利用し、ご利用様を支えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室に馴染みの家具を置き、ご自身の写真やご家族の写真を飾り大切な関係が途切れないよう工夫しています。職員は利用者の趣味や生活習慣の継続を尊重し積極的に支援しています。	コロナ禍以前は、家族と墓参りに行ったり、年末年始を過ごす利用者がいた。編み物、読書、大人用の塗り絵などの趣味を継続して楽しんでいる利用者がいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しがちな利用者はスタッフが近づいてお話を伺っています。又楽しくお話されている方々へ参加出来るよう声かけを行っています。利用者全員が参加出来るレクレーションを企画して極力孤立しないよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族からの希望があれば関係を継続していきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の会話や表情の変化等を見逃さないように、職員は察知できるように努めています。利用者様の思いや意向をくみ取り、モニタリングを実施しています。困難な場合は介護記録や共有ノートを確認しご家族にご相談しています。	アセスメントで家族から話を聞いている。利用者からもしっかりと傾聴するように心掛け、時には居室で時間を十分に取って話を聞くこともある。難聴の方とは、身振り手振りでコミュニケーションを取り、筆談を行うこともある。把握した思いは共有ノートや介護記録に記載し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族とのカンファレンスや利用者様と直接お話す事によりご本人の要望を理解し把握に努めます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の行動、言動の記録をスタッフ間で共有し、その方にあった生活が出来るよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行い家族や利用者様の意見や要望もふまえてその時の情報と日々のケア中にあった出来事等、介護記録や共有ノートから取りまとめ、介護計画を作成している。	入居後1か月程度は初期プランで様子を見て、その後、本プランに移行している。カンファレンスノートに利用者のケアについての職員の意見や個々の対応を記載しており、これを基にユニット毎にカンファレンスを実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、管理日誌、連絡ノートを活用し、日々の気付いた事や変化を共有し適時に対応でき、介護計画につなげています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	素早くその時のニーズに対応するよう心がけています。お一人お一人が穏やかに過ごされるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々との対面交流が出来ない中で地域ケアプラザとの繋がりを閉ざさないよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得の得られた「かかりつけ医」と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時、ご家族の希望でかかりつけ医を選んでいただいています。月2回の往診があり、医療情報は報告書に記録し職員間で共有しています。週1回の訪問看護師による健康チェックがあり、提携薬局も薬の管理等もあり、訪問歯科を受診され定期的な研修も実施しています。利用者に適切な医療が受けられるよう支援しています。	全員が協力医療機関の訪問診療を月2回受診している。内1回は同じ日に全員が受診し、あと1回は利用者個別に受診日を設定するために来訪頻度は多い。訪問歯科医が毎週1回来所し、その際に職員は口腔ケアの指導を受け、日々のケアに活かしている。専門科への通院は家族対応となっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を利用しています。訪問日に間に合うように、利用者の状況をスタッフが記録し、訪問看護師が目を通し、利用者様に適切な関わりが出来るよう努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はホームドクターから診療情報提供書を作成していただき、病院に適切な情報を提供しています。ご家族様にも状況を丁寧に説明し、早期退院が出来るよう関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合のご説明をしています。ご家族が不安にならないように早い段階から医師や看護師によるアドバイスも受け今後の対応を一緒に考えています。	入居時に「重度化した場合における対応に関する指針」を説明し同意を得ている。事業所として看取りの実績はなく、管理者を含めた職員の中にも経験者は不在である。今年度重篤化した利用者がいたが、医師、家族と相談の結果、介護療養型医療施設に移った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを理解し対応できるように勉強会等を行っています。救急車対応も学び少しずつ実践力を身につけています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回実施しています。地域の方々の協力をお願いするように努めています。	7月に夜間想定で避難訓練を行い利用者も参加した。12月に消防署参加の上、再度訓練を行う予定にしている。地域との協力体制では、避難後の見守りをお願いしたいと考えており、コロナ終息状況次第だが、近隣住民と打ち合わせをすることになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は個人情報や接遇マナーの研修を受けています。年1回はテキストで研修とテストがあり再確認しています。言葉づかい、態度、人格の尊重とプライバシーの確保に配慮した対応を心がけています。	接遇マナーのテスト結果をもとに、管理者は職員と振り返りを行い、理解、納得出来るまで指導している。その成果で「優しい声掛け」や「羞恥心に配慮した対応」が徹底されるようになってきた。個人情報を含む書類等は施錠出来る書棚に保管し、PCに入っている情報もパスワード設定により管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや希望が何かを聞き取りやすい環境をつくり、ご本人の思いが実現できるように努めます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のケアが忙しくご利用者様のペースで関わる事が難しい中、個々性をくみ取り、できる限り希望にそった支援が出来るよう努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容の利用でヘアカットや毛染めで気持ちもさっぱりしておられます。このまま継続しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時に食事の好き嫌いをお聞きして、好みに合うように調理も工夫しています。食材の購入は 業者に委託し職員が利用者様の食形態に合わせて調理しています。食事後片付けも出来る事を手伝って下さいます。	主菜は委託業者からの冷凍、チルド食品で、その他は事業所にて調理している。行事食も業者からの特別食で対応し、会議開催日等の時間が無い場合は、介護食の弁当を取ることもある。誕生日やクリスマスにはケーキを購入し提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	往診医と連携を図っています。適切な水分量、食事量を摂っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のアドバイスを受け、口腔ケア、口腔体操を行っています。口腔ケアが自力で出来ない方は介助し、常に清潔な状態が保たれるようにしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	意志表示が出来ない利用者様には定期的にトイレ誘導しています。自力で出来る方と個別で対応しています。夜間は定時にオムツ交換やトイレへ誘導する方等、個別対応しています。	利用者の半分は自立しているが、排泄チェック表でパターンを把握し、声掛け誘導している。夜間は、出来るだけ睡眠を妨げないように、寝たままの姿勢で、パット交換を行う利用者がある。一方では定時誘導もっており、個別対応となっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	往診医、訪問看護師と連携をとり毎日水分量と便秘確認を行っています。服薬調整も行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望もお聞きし、個々に応じた入浴は週2回を原則としています。湯は午前と午後を取り替えて足拭きマットも一人ずつ交換し衛生と感染症に配慮しています。入浴を好まない方には曜日や時間、対応者を変えて無理のないようにしています。季節に応じた入浴剤を使用し楽しまれています。	浴室の前に温泉マークの暖簾を掛け、雰囲気を楽しんでもらっている。入浴は原則週2回で、お湯は都度入れ替え、清潔を保っている。入浴剤は数種類用意し利用者に選んでもらい、菖蒲湯も楽しんでいる。ヒートショック対策は浴室、脱衣所共に暖房器具で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安心して良眠していただけるように照明や人の動き、音の大きさを配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を受け取る際に薬剤師からの説明や説明書の確認し、アドバイスを受けて経過観察をしています。変化がみられた時は迅速に往診医や薬剤師の指示を受け対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節のレクリエーションの企画やお手伝いをさせていただいたり、利用者全員が楽しめることを支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前はご家族との外出やスタッフとの外出を実施していましたが、コロナの状況で近隣の散歩や敷地内でのひなたぼっこ等になってしまいましたがご本人の希望にそった外出を心がけています。	公園や川べり、新幹線の行き来を見にマスク着用で近場への散歩を楽しんでいる。散歩の際に野に咲く草花を摘んで持ち帰り、洗面台等に飾ることもある。また、庭のベンチや駐車場で外気浴や日光浴を楽しむ利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	夏祭り、お買い物時はお小遣いを持参してご本人の希望のものを購入しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様が希望された時や遠方の方には手紙や電話で連絡を取りあっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔を保てるようにしています。気温調整や照明にも気を配り常に居心地の良い環境を維持しています。フロアはレクレーションで利用者様が作成した季節ごとの絵や塗り絵を飾っています。和室に腰掛け、おしゃべりしたり、洗濯物をたたんだり、のんびりと過ごされています。	リビングには利用者が作成した季節毎の飾り物が展示されている。調査時は、クリスマスツリーを出したばかりで、これから飾りつけを始める。新型コロナウイルス対策上、職員も含め1階と2階のユニットの行き来を中止しているが、運動会は利用者を楽しんでもらうために職員がユニット対抗戦とすることを企画し、大いに盛り上がった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い利用者様同士でおしゃべりを楽しんでいただいたり、寂しい気持ちにならないようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前のご本人の使い慣れたものを置いたり、飾ったりしています。居室でテレビを見て過ごされている利用者様もおり、居心地のいい空間で居られるようしています。	利用者は思い思いの物を持ち込み個性的な居室としている。リビングに展示、掲示していた作品は、制作した利用者の居室のドアに飾ることにして引き続き楽しめるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様のADLの把握を怠らず、ご自分で出来る事は無理をせずやって頂き、困難な事は介助を行っています。		

事業所名	ニチイケアセンター横浜鶴ヶ峰
ユニット名	万寿

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様を人生の先輩として尊重している。信頼関係を構築し優しさと思いやりの気持ちを込めて支援することにより質の高い介護サービスを提供致します。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間の地域行事に参加させていただいているが、今年はコロナ感染症対策で行事も中止となっている。開催の目処がたてば、参加し交流を図りたい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域ケアプラザの行事に参加させていただけるようお願いはしています。認知症等のイベントは中止の状況が続いているが、今後も引き続き実践を通して地域貢献に努めていきます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議もコロナで外部の方の入室が難しい中、利用者やご家族の意見を聞き、サービスに向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	年2回の消防訓練の際、消防員の支持をおおぎ協力関係を築いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のない職場を継続する為に月1回の全体会議でスタッフと話し合いを行い内容を理解し自分たちのケアを振り返り取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様に対するケアの確認、職員同士での確認をし情報共有と意見交換を行い虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての理解を深めるために努めます。 現在はご家族対応が多いです。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご家族に理解と納得して頂けるように契約時の時間もしっかり取っていただいています。ご説明時ご質問等にも答え、納得の上で同意をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人が実施しているご家族向けの顧客満足度調査のアンケートを実施しています。意見や感想を真摯に受け止め運営に反映させていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回全体会議と研修を行っている。会議の内容や研修資料を基に職員から意見や提案を聞き、提案を実現できるように努めている。管理者は個別で職員と話をする機会を作れるよう心がけている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社内にキャリアアップ制度があり、昇給の機会を設けており、個人の面談も実施しています。現状の把握をし働きやすい環境整備を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時の採用研修、経験年数に伴った各種の研修を定期的に行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域ケアプラザ主催のグループホーム連絡会に参加し他のグループホームとも繋がりやすい関係を築くよう努めています。コロナ時は、感染予防の備品等の情報の交換等を行いました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅へ伺い面談を実施。直接ホームに見学に来ていただく事により安心していただけるようにと努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族から困っている事や要望等を、細かくお聞きして安心していただけるようにご説明を行っています。入居後は月1回のお便りを郵送し身近な存在に感じていただくよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の面談の中でのお話で必要としている事を考えながら、ご提案をしています。理解を得た上で対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と会話する中で希望や要望を察知しています。日々の生活に取り入れ穏やかに暮らしていただけるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン更新時にご家族と電話でカンファレンスができるようにしています。オンライン面会も利用し、ご利用様を支えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室に馴染みの家具を置き、ご自身の写真やご家族の写真を飾り大切な関係が途切れないよう工夫しています。職員は利用者の趣味や生活習慣の継続を尊重し積極的に支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しがちな利用者はスタッフが近づいてお話を伺っています。又楽しくお話されている方々へ参加出来るよう声かけを行っています。利用者全員が参加出来るレクリエーションを企画して極力孤立しないよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族からの希望があれば関係を継続していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の会話や表情の変化等を見逃さないように、職員は察知できるように努めています。利用者様の思いや意向をくみ取り、モニタリングを実施しています。困難な場合は介護記録や共有ノートを確認しご家族にご相談しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族とのカンファレンスや利用者様と直接お話しする事によりご本人の要望を理解し把握に努めます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の行動、言動の記録をスタッフ間で共有し、その方にあった生活が出来るよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行い家族や利用者様の意見や要望もふまえてその時の情報と日々のケア中にあった出来事等、介護記録や共有ノートから取りまとめ、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、管理日誌、連絡ノートを活用し、日々の気付いた事や変化を共有し適時に対応でき、介護計画に繋げています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	素早くその時のニーズに対応するよう心がけています。お一人お一人が穏やかに過ごされるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々との対面交流が出来ない中で地域ケアプラザとの繋がりを閉ざさないよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時、ご家族の希望でかかりつけ医を選んでいただいています。月2回の往診があり、医療情報は報告書に記録し職員間で共有しています。週1回の訪問看護師による健康チェックがあり、提携薬局も薬の管理等もあり、訪問歯科を受診され定期的な研修も実施しています。利用者に適切な医療が受けられるよう支援しています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を利用しています。訪問日に間に合うように、利用者の状況をスタッフが記録し、訪問看護師が目を通し、利用者様に適切な関わりが出来るよう努めています。		

32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時はホームドクターから診療情報提供書を作成していただき、病院に適切な情報を提供しています。ご家族様にも状況を丁寧に説明し、早期退院が出来るよう関係づくりに努めています。</p>		
----	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合のご説明をしています。ご家族が不安にならないように早い段階から医師や看護師によるアドバイスも受け今後の対応を一緒に考えています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを理解し対応できるように勉強会等を行っています。救急車対応も学び少しずつ実践力を身につけています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回実施しています。地域の方々の協力をお願いします。するように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は個人情報や接遇マナーの研修を受けています。年1回はテキストで研修とテストがあり再確認しています。言葉づかい、態度、人格の尊重とプライバシーの確保に配慮した対応を心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや希望が何かを聞き取りやすい環境をつくり、ご本人の思いが実現できるよう努めます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	日々のケアが忙しくご利用者のペースで関わる事が難しい中、個々性をくみ取り、できる限り希望にそった支援が出来るよう努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容の利用でヘアカットや毛染めで気持ちもさっぱりしておられます。このまま継続しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時に食事の好き嫌いをお聞きして、好みに合うように調理も工夫しています。食材の購入は 業者に委託し職員が利用者様の食形態に合わせて調理しています。食事後片付けも出来る事を手伝って下さいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	往診医と連携を図っています。適切な水分量、食事量を摂っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のアドバイスを受け、口腔ケア、口腔体操を行っています。口腔ケアが自力で出来ない方は介助し、常に清潔な状態が保たれるようにしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	意志表示が出来ない利用者様には定期的にトイレ誘導しています。自力で出来る方と個別で対応しています。夜間は定時にオムツ交換やトイレへ誘導する方等、個別対応しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	往診医、訪問看護師と連携をとり毎日水分量と便秘確認を行っています。服薬調整も行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望もお聞きし、個々に応じた入浴は週2回を原則としています。湯は午前と午後を取り替えて足拭きマットも一人ずつ交換し衛生と感染症に配慮しています。入浴を好まない方には曜日や時間、対応者を変えて無理のないようにしています。季節に応じた入浴剤を使用し楽しまれています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安心して良眠していただけるように照明や人の動き、音の大きさを配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を受け取る際に薬剤師からの説明や説明書の確認し、アドバイスを受けて経過観察をしています。変化がみられた時は迅速に往診医や薬剤師の指示を受け対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節のレクリエーションの企画やお手伝いをさせていただいたり、利用者全員が楽しめることを支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前はご家族との外出やスタッフとの外出を実施していましたが、コロナの状況で近隣の散歩や敷地内でのひなたぼっこ等になってしまいましたがご本人の希望にそった外出を心がけています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	夏祭り、お買い物時はお小遣いを持参してご本人の希望のものを購入しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様が希望された時や遠方の方には手紙や電話で連絡を取りあっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔を保てるようにしています。気温調整や照明にも気を配り常に居心地の良い環境を維持しています。フロアはレクレーションで利用者様が作成した季節ごとの絵や塗り絵を飾っています。和室に腰掛け、おしゃべりしたり、洗濯物をたたんだり、のんびりと過ごされています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い利用者様同士でおしゃべりを楽しんでいたり、寂しい気持ちにならないようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前のご本人の使い慣れたものを置いたり、飾ったりしています。居室でテレビを見て過ごされている利用者様もおり、居心地のいい空間で居られるようしています。		

55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者のADLの把握を怠らず、ご自分で出来る事は無理をせずやって頂き、困難な事は介助を行っています。		
----	--	---	--	--	--

目標達成計画

事業所名 ニキイアセツ-横浜鶴ヶ峰

作成日 2021年4月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新人スタッフが増員され、ITPに対する理解と対応不足がみられる	スタッフ一人ひとりのスキルを高める	入居者一人ひとりのアセスメントやカンファレンスを行い、スタッフ間で共有し、日々のITPに繋げる。研修会を行い知識をつたえる	2021年4月2 2021年10月
2	2	入居者の「重度化」した場合における対応の経験が少なく、今後、看取りITPの対応に不安がある	スタッフ全員が一丸となり看取りITPが行えるようになる。	看取りITPの資料をもとに研修会や勉強会を行い、知識とスキルをつたえ、実践に役立つ	2021年4月2 2021年10月
3	3	災害対策の風化防止、対応を周知する。ことが必要。	全スタッフが風化防止、きちんと対応ができるようにしておく。	避難経路訓練の他にも定期的に各フロアを把握しておく。	2021年4月2 2021年10月
4	4	何か不適切なITPなのか、スタッフ全員が把握できていない	不適切なITPを理解し、現場でのITPを共有する	毎月の委員会を個別に検討し、実践に役立つ	2021年4月2 2021年10月
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。